

平成31年度学校評価について

平成31年4月15日

<p>本年度の重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上 2 自立と社会参加を促す教育活動の推進 3 「笑顔」のある安心・安全な学校づくり 4 関係機関や保護者等との連携による教育活動の推進 5 センターの機能の充実 6 仕事の効率化に努め、教職員の連携・協働を大切にす働きやすい職場づくり 			
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	<p>児童の病気や障害の状態及び学習の進度に応じて学習の目標や内容を設定し、児童が充実感を味わいながら笑顔で学校生活を送ることができるようにします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童・保護者及び医療関係者等との相談をもとに、児童の学習の進度や特性を把握します。 2 一人一人の実態に応じた学習目標・内容を設定し、効果的な学習方法と支援体制を工夫します。 3 児童とともに学習の成果を振り返り、自己の成長と課題を確認することにより、児童が主体的に自己を発揮しながら次の課題に向かえるように支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を大切にし、言葉を通じて自分のものの見方や考え方を深められるように支援します。 ・児童の学習の場をICT機器でつなぎ、自分の意見を伝え合うことによって、お互いの考えを深め合う環境を整えるようにします。 ・教育活動の状況や児童の成長の様子を保護者や医療関係者に伝え、学校と保護者及び病院が協力して児童の成長を見守り、支援することができるようにします。
中学部	<p>基礎的・基本的な学力の習得を確実にを行うとともに、集団の中で、自らの課題に気づき、その課題の解決策を考える力や意欲を養います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の学習状況を適切に把握し、学習集団を工夫するなど、きめ細やかな指導を行います。 2 ICT機器を活用し、校内教育、BS学級、施設内教育学級で同時双方向での授業を行い、集団で学び合う環境づくりをします。 3 集団活動の中に意見を交わす課題を設けるなど、対話的、協同的な活動を通して合意形成の場の設定に心がけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の願いや目標の達成のため、支援方法など担当者間で共通理解を図ります。 ・家庭、医療機関、前籍校との連携、情報共有を図ることで、実態把握に努めます。 ・インターネット環境等、同時双方向で行う授業の環境を整えます。 ・集団活動では、学習後の振り返りで自己の課題を整理し、次の学びへと生かすよう支援します。
高等部	<ol style="list-style-type: none"> 1 各教育課程の指導内容及び指導方法について検証し、改善を進めます。 2 卒業後の自立を目指し、集団の一員として生きる力を身に付けます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の達成感や自己肯定感の向上につなげるため、個々の学習状況に応じた分かりやすい授業を行います。 2 生徒一人一人の実態を的確に把握し、高等部職員全体で取り組むべき課題という共通認識をもち、授業力の向上及び適切な指導が実施できるよう、研修に努めます。 3 挨拶や言葉遣い、他の生徒への思いやりなどを、学校生活の中で、人との関わり方を学べるように支援・指導します。 4 ICT機器を積極的に取り入れ、授業や各行事等で有効に活用することで、学習効果を高めます。 5 集団での活動場面において、生徒の実態に応じた役割分担を明確にし、他の生徒との協働により、達成感や成就感を味わえるように指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が生徒個々の実態を的確に把握し、幅広い視野、長期的な展望をもって適切な指導ができるようにします。 ・生徒が自己の病気や心身の状況に応じて、意欲的に学習に取り組むことができるよう、褒めて伸ばす指導を推進します。 ・生徒個々の短期的な目標や課題を、職員全員が理解し、学校生活全般を通じて、生活指導面でもPDCAサイクルを図ります。
施設内教育	<p>名大藤田中京</p> <p>保護者及び医療機関等との連携を保ち、児童生徒が安心して学べるように、個に応じた指導の工夫と充実に努めます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者、病院、前籍校等と協力し合って学習環境を整え、児童生徒の実態に合わせた学習保障に努めます。 2 授業や行事等、さまざまな教育場面で、ICT機器を効果的に活用していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイド授業の実施や、短期入院の児童生徒の転入について速やかに対応します。 ・ICT機器を活用できる環境を整え、本校や各施設と連携し、学習の充実に努めます。
訪問教育	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の一人一人を大切に授業を実施します。 2 病院等の関係機関との連携を密にし、児童生徒が安心して学べる環境作りに努めます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の興味・関心や学習の状況を把握して授業を実施します。 2 担当者間で、児童生徒の情報を共有し、児童生徒にあった目標・内容・方法で支援をします。 3 電話や病棟との連絡ノート等を活用し、病院等の関係機関との情報交換を積極的に行い、児童生徒にとって安心して活動できる環境作りに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、児童生徒の心身の状態を適切に把握し、状態に応じた授業を展開するように努めます。 ・児童生徒の一人一人に応じた適切な教材・教具の開発に努めます。 ・児童生徒の状況に変化があった場合には、すぐに関係機関と連絡を取り合い、変化に応じた対応を素早く取ります。
総務部	<p>効果的な教育活動の情報発信に努めます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校だより・校内掲示・学校ホームページ・メール配信システム等を利用して、教育活動について発信していきます。 2 保護者と教職員が連携し、PTA活動の関心を高めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの様式等を見直し、親しみやすい紙面づくりをしていきます。 ・保護者とともに、魅力あるPTA活動の内容等を考えていきます。
教務部	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒が主体的に楽しく学べるように教員の指導力の向上を図ります。 2 児童生徒の実態把握に努め、その実態に合った授業の工夫を行います。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領全面実施に向けた授業改善に取り組み、指導力向上のため研修の機会を設けます。 2 家庭及び医療機関との情報交換を密にし、児童生徒一人一人に合った指導体制や指導方法を工夫します。 3 児童生徒が自分自身の心身の状態を見つめ、自己理解を進めたり、自己管理の力がついたりするような活動の工夫を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教育形態や他の校務分掌と連携します。 ・ICT機器を積極的に授業等に活用していきます。

自立活動	<p>3 児童生徒が自立を目指す上で今必要な力は何かを共に考え、主体的にその力を身に付けることができるよう支援します。</p> <p>4 自立活動の指導計画について、見直しを行います。</p>	<p>4 自立活動の指導計画について、作成手順や活用方法の検討を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の実施にあたっては、安心安全な環境設定に努めるとともに、ワークシート等を活用して、児童生徒が活動の成果を実感し、自信がもてるような支援に心掛けます。 自立活動の指導計画を見直す際は、各教科や領域等との関連や各教育形態の状況を踏まえた上で進めるよう努めます。
生徒指導部	<p>児童生徒が、安心・安全に学校生活を送ることができるような学校づくりに努めます。</p>	<p>1 児童生徒が安全に避難するための避難訓練を、もちのき特別支援学校と合同で実施します。</p> <p>2 不審者対応訓練の内容を見直し、より実践的な訓練にします。</p> <p>3 防災ヘルメットや防災頭巾を、児童生徒が手に取りやすいところに設置し、災害時に使用できるようにします。</p> <p>4 毎週、各部会で児童生徒の情報交換を行うとともに、年2回、児童生徒を対象とした「心のアンケート」を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> もちのき特別支援学校と連携し、避難経路や避難場所等の確認を綿密に行い、両校の児童生徒が安全に避難する方法を考えていきます。 警察署と連携し、助言を受けながら児童生徒に必要な防犯意識が高まるよう努めます。 ヘルメットの使い方をしっかり理解できるよう支援します。また、防災学習を適宜行うことで防災意識を高めていきます。 日頃から職員間で情報共有を図り、いじめの早期発見に努めます。また、いじめ不登校対策委員会を開催し、いじめの防止、早期対応に学校全体で当たります。
保健体育部	<p>教育環境の整備や安全指導の充実と児童生徒の健康管理に努め、保健指導の充実を目指します。</p>	<p>1 事故防止や感染症対策における職員の意識を高め、児童生徒個々に応じた緊急時の対応等の情報を職員に周知徹底し、共有しながら、より安心して安全な教育環境を整えます。</p> <p>2 医療的ケアや食物アレルギー対応の実施については、保護者や関係する機関との連携を深める中で、児童生徒や教職員が、お互いに安心して学校生活を送ることができるように支援します。</p> <p>3 日常の健康安全に対する意識を高め、家庭や病棟と連携を取り、健康的な生活や食習慣の重要性を周知していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事故や感染症拡大の予防に努め、職員で情報を共有し、緊急時のスムーズな対応に備え、安全指導の徹底を図ります。 安心、安全な対応ができるよう、委員会等で十分に審議し、その情報を共有し、保護者や関係機関との理解と協力を得ながら全校体制で行います。 児童生徒の毎朝の健康観察を行うと共に、給食配膳時にも健康チェックを実施します。給食時においては、衛生的な環境作りに努めます。
進路指導部	<p>児童生徒の実態と児童生徒、保護者のニーズを踏まえ、適切な進路決定に向け進路指導の充実に努めます。</p>	<p>1 学年や教育形態に応じて説明会や懇談等を実施します。保護者のニーズを把握し情報を提供する中で、進路決定に向けた課題や支援方法について共通理解を図ります。</p> <p>2 地域や関係機関との連携を図り、見学、体験、実習等の活動や、進学・就労への支援が充実するよう努めます。</p> <p>3 希望する進路先に対して児童生徒の実態について情報提供することで児童生徒への理解を深めていただくよう努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 就労、進学指導に関する情報収集に努め、学校行事等と関連を図りながら説明会や懇談を実施し、児童生徒、保護者に対し情報提供をします。 必要に応じて、本人、保護者、医療関係、学校関係、その他関係機関（児童相談センター、生活支援センター等）を交えた話し合いができるよう、連携を心がけます。 希望する進路先に対して必要に応じて連絡、訪問するなど、より密な関係を構築できるよう積極的に働きかけます。
教育支援部	<p>1 児童生徒の実態を踏まえ、一人一人のニーズに応じたきめ細やかな支援をするため、教職員研修の充実を図って校内支援につなげます。</p> <p>2 各関係機関との連携を深め、病弱特別支援学校としての、センター的機能の推進に努めます。</p>	<p>1 児童生徒の的確な実態把握、適切な支援につながる教職員の研修を実施するとともに、必要な情報の提供を行います。</p> <p>2 医療、教育、地域との連携を重視したセミナーを企画し、地域の教育関係者にも公開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> セミナーや研修会、情報提供については、近年の教育状況やニーズを把握するとともに、在学する児童生徒の支援に役立つ内容であることを重視します。 関係機関との連携や担当者間の情報交換を密にし、地域に根ざした支援を提供します。
教育情報部	<p>1 他の校務分掌と連携をとり、職員が児童生徒の個に応じてICT機器を使用できるようにします。</p> <p>2 見やすく分かりやすいホームページを整備し、迅速で正確な情報を発信します。</p>	<p>1 職員から児童生徒についての実態アンケートをとり、タブレット端末を整備します。</p> <p>2 ICT機器の所在を職員に分かりやすく提示します。</p> <p>3 ICTの推進や技能向上に関わる研修を実施します。</p> <p>4 新しいホームページビルダーに移行します。</p> <p>5 レイアウトや色等、全体的なデザインを検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを実施することで児童生徒や職員の必要としているアプリケーションを把握します。 教育支援部と連携をとり、ICTに関わる研修を計画します。 見る人に分かりやすいことを意識して全体的なデザイン等を整えます。 各分掌、施設等のホームページ担当の職員に、更新時期を的確に伝えていきます。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<p>1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上ができたか</p> <p>2 自立と社会参加を促す教育活動が推進できたか</p> <p>3 「笑顔」のある安全・安心な学校づくりができたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災やいじめ防止等への対策を行い、児童生徒の実態に合わせ安全・安心に留意した支援ができたか <p>4 関係機関や保護者等との連携による教育活動が推進できたか</p> <p>5 センター的機能の充実ができたか</p> <p>6 仕事の効率化、勤務時間の適正化に努め、教職員のメンタルヘルスを保持することができたか</p>		

